

農業委員会新体制決まる



平成29年4月21日、豊岡市農業委員会委員の辞令交付式が行われました。
平成27年9月の農業委員会法改正に伴い、36人の定員が19人に、また新たに農地利用最適化推進委員25人を加えた44人体制の農業委員会がスタートしました。

就任あいさつ

会長 森井 脩

改正農業委員会法に基づく市長の任命により、第5期の農業委員会が発足し、会長の重責を担うこととなりました。浅学非才の身ではありませんが、農業を愛する心を強くし、職務に励んで参ります。

TPPやFTAなど農業のグローバル化の波が大きく強くなる中で、国の農業施策は農地の集積・規模拡大による競争力の強化、規制緩和で企業等の新規参入の促進、来年度からのコメの生産調整の廃止など年々急速に変わってきています。農地中間管理機構や人・農地プランの推進などは国の農業改革戦略の一環として進められています。

一方、豊岡の農業の状況は農業者の高齢化と減少、後継者・担い手の不足など厳しさは益々進展しています。また、有害鳥獣被害も依然深刻な状況にあります。そして、中山間地、平地、市街地近郊と農地の立地は多様であり、それぞれに合った農業や農地管理の在り方が求められています。市の農業施策は「環境創造型

農業」を柱に展開されていますがまだまだ多くの課題を抱えています。

こうした下で、今期農業委員会は発足しました。農業委員と新たに設置された農地利用最適化推進委員は、地域の人と農地を一番良く知る者として自覚を持った活動が求められています。改正農業委員会法は「農地利用の最適化」として、農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進等が農業委員会の任務として明示されましたが、このことを実現するために最も重要なのは地域での話し合いによる合意形成です。農業委員会は関係機関との連携を一層密にしてこの話し合いの中核を担うべく努力していかねばなりません。今期農業委員会から地域毎の担当が明確になりました。農業委員と農地利用最適化推進委員は一体となって地域に溶け込み地域の信頼を得るよう努力して参りますので、ご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

新農業委員・農地利用最適化推進委員を紹介します

▼出石地域



水嶋 義彦
農業委員
(出石町嶋)

▼日高地域



宮岡 正則
農業委員
(日高町浅倉)

▼竹野地域



加悦 富美恵
農業委員
(竹野町三原)

▼豊岡地域



蜂須賀 久人
農業委員
(豊岡市森津)

▼豊岡地域



北垣 裕次
農業委員
(豊岡市百合地)

▼但東地域



永井 辰正
農業委員
(但東町畑山)

▼日高地域



宮口 豊隆
農業委員
(日高町観音寺)

▼日高地域



上坂 光広
農業委員
(日高町上石)

▼豊岡地域



村田 憲夫
農業委員
(豊岡市野上)

▼豊岡地域



齋藤 善久
農業委員
(豊岡市下宮)

▼但東地域



森井 脩
農業委員
(但東町奥矢根)

▼出石地域



井谷 勝彦
農業委員
(出石町桐野)

▼日高地域



田中 直喜
農業委員
(日高町万場)

▼城崎地域



石橋 重利
農業委員
(城崎町来日)

▼豊岡地域



高尾 利美
農業委員
(豊岡市気比)

▼八条・豊岡地区



宮村 吉一
推進委員
(豊岡市九日市上町)

▼出石地域



大原 博幸
農業委員
(出石町田多地)

▼日高地域



原 清美
農業委員
(日高町万劫)

▼竹野地域



尾口 正信
農業委員
(竹野町榎)

▼豊岡地域



西沢 泰裕
農業委員
(豊岡市八社宮)